

<p><b>教育・保育理念</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分も友だちも大切に作る心の育成</li> <li>・学びの芽の育成</li> <li>・自分の可能性や能力を十分に発揮できる力の育成</li> </ul>
--

<p><b>園の重点項目</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の人権を大切に様々な人と関わりながら、子どもが安心安全に過ごせるようにし、主体的に生活やあそびを取り組む力を育む。</li> </ul>
---

<p><b>令和5年度 重点内容</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、愛されていると実感し、情緒の安定を図り、自己肯定感を育てる</li> <li>2、生活やあそびの中で学びあい、考える力と体力の向上を図る</li> <li>3、主体的にあそび活動を大切にし、学びに向かう芽を育てる</li> <li>4、保護者や地域の方と連携し、子どもの育ちを支える</li> <li>5、職員の質の向上をめざす</li> </ol>
---

重点内容	重点内容に向けた具体策	評価項目	自己評価	とも園関係者評価	
<p>りし愛、さ情れ己緒て青の安定感をと実育図感</p>	<p>安心して過ごせる環境の元で一人一人が愛されていると実感できる周囲の大人との関係を築き、人と関わる心地よさが感じられるようにする</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ありのままの子どもの姿を受け止め自尊感情を育てる</li> <li>・大人との愛着関係や安心感のもと人を信頼し人を信頼し生きていく力を育てる</li> <li>・異年齢保育の中で温かい触れ合いを数多く体験できるようにする</li> </ul>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人を大切に、ありのままの姿を受けとめ寄り添う関わりを職員間で確認し取り組んできた。園児の気持ちに寄り添うことで思いを言葉や仕草で示し、意欲をもって様々な活動を楽しむ姿になっている。異年齢保育を中心にしながら生活やあそびを楽しむ中で、園児どうしで助け合ったり、考えを共有して遊ぶ姿につながっている。特に大きな行事は5歳児を中心にアイデアを出し合い、みんなで作り上げることが出来た。</li> </ul>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・異年齢で過ごすことで豊かな心を育み、仲間とのよりよい関係づくりにつながっている。</li> </ul>	
	<p>一人一人の個性を認めお互いを思いやり、支え合う仲間意識を育てる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人との関わりの中で個性を認めてお互いを尊重し合える心を育てる</li> <li>・お互いを思いやり認め合いながら共に育ちあう集団作りを行う</li> </ul>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活やあそびの中で自分という個性を発揮できる力を育てる</li> </ul>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・異年齢で過ごすことで、一人一人の個性を認め合い共に育ちあう仲間となっている。</li> </ul>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・異年齢保育を中心に、のびのびと園児が活動できている。</li> </ul>
	<p>一人一人が多様であることに気づき、その多様さに応じ豊かに関わる力を身につけていく</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活やあそびの中で自分という個性を発揮できる力を育てる</li> <li>・人との関わりを通して、多様であることに気づき認め合う気持ちを育てる</li> </ul>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通してほぐしあそび、リズムあそびに取り組み、しなやかな体づくりやいろいろな運動あそびをして体幹も強くなってきている。また様々な活動に取り組む中で体の使い方、遊び方を丁寧に知らせたことで楽しんで活動し、達成感を友だちや保育教諭と喜び合うことが出来た。</li> </ul>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢に応じた保健指導や栄養指導を行い、園児自身が意識して取り組んでいけるように関わってきたことで意識してできるようになりつつある。取り組みを保護者へ発信し正しい生活習慣の理解につなげた。</li> </ul>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな運動あそびに取り組み、正しい姿勢にもつながっている。</li> </ul>
<p>るで生力学活とびや体あそいそのの向上を考へる</p>	<p>年齢発達に応じた楽しいあそびの保障や異年齢保育を通して、友だちと一緒に楽しく体を動かしながら体幹を鍛えることを継続的に取り組む</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの発達過程から一人ひとりの育ちを見極めて関わりや支援を工夫する</li> <li>・体を動かすあそびを定期的に設定し、心と体をほぐしながら体幹を鍛える</li> <li>・生活の中で正しい姿勢に気づいて守ろうとする意識を育てる</li> </ul>	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健活動や安全教育を通して自分の身体を大切にしようとする気持ちを育てる</li> </ul>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アプリを活用し、保護者へ啓発に取り組みよ。もっと発信して連携を図っていきとよい。</li> </ul>	
<p>基本的な生活習慣の定着を目指し家庭との連携、指導を行う</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団生活においてルールを守ったり自分の気持ちや感情を調整できる力を育てる</li> <li>・子どもの発達の特性を伝え規則正しい生活習慣を保護者に啓発する</li> </ul>	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・散歩で発見した虫や草花を園に持ち帰り、図鑑を見て調べて分かったことをみんなに知らせている。園児が遊びやすい空間づくりも意識し、様々な活動に興味をもって取り組めるように、視覚教材や声かけを工夫したことで一人一人が楽しんで取り組むことが出来ている。</li> </ul>	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃材を利用してのフリー制作は、5歳児が昨年度からの続きでイメージを友だちと共有し楽しく作ったり、自身のイメージも豊かにしながら制作する姿がある。その姿を年下の園児が見ることで憧れの気持ちや一緒に作ることが楽しい姿になっている。『みんなの広場』では5歳児が中心となりアイデアや遊び方を提案し異年齢で楽しく取り組むことが出来た。</li> </ul>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校との交流は3学期だけになったので、小学校からのアプローチも必要と感じている。</li> </ul>	
<p>主體的にあそび活動を大切にしよう芽を育てる、学びに向かう</p>	<p>興味や関心がわくあそびの環境設定をし、自主性や意欲を伸ばす保育教諭の関わりを大切に</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚的支援を含めた環境構成を工夫しあそびの中で意欲や探究心を引き出す</li> <li>・生活やあそびの中で成功体験や失敗体験から考える力と次の意欲を育てる</li> <li>・主体的に生き物や植物に関わり育てることが楽しめる環境を構成する</li> </ul>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校児童や職員との交流等連携を通して、教育・保育の質の向上を図る</li> </ul>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フリー制作に取り組む、園児が主体的に取り組んでいることがよい。アイデアが園児から発信できるよう支援を行っている。</li> </ul>	
<p>地域の特色を活かした教育保育を行い、学びあひ育ちあう関係づくりをすすめる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校児童や職員との交流等連携を通して、教育・保育の質の向上を図る</li> <li>・一人ひとりの育ちについて小学校と情報共有し円滑な接続を行う</li> </ul>	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校訪問などの交流を通して地域の施設を知ることが出来、職員交流にもつながっている。小学校児童が園へ訪問したり、5歳児の小学校訪問を通して交流ができています。また毎月の園だよりを配布し園の教育保育を伝えてきた。</li> </ul>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校との交流は3学期だけになったので、小学校からのアプローチも必要と感じている。</li> </ul>		
<p>保護者や地域のの方と連携し、子どもの育ちを支える</p>	<p>地域の施設を散歩の中で知り、様々な人と関わる機会(世代間交流等)を大切に</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の関係機関や団体と連携し、行事などへの参加を働きかけ交流を深める</li> <li>・職員が地域行事に参加し地域の人や関係機関職員との交流を持つ</li> </ul>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防署見学やおはなし会など、地域の施設と交流することで地域とのふれあいに心地良さを感じている。また、地域行事(サマーフェスタ)に参加し地域の方との交流をもつことができ、とも園を知ってもらうきっかけにもなった。</li> </ul>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の施設との触れ合う機会が復活しているので、引き続き続けていきとよい。</li> </ul>	
<p>子ども自身が地域に愛着を感じて、地域の人と関わりながら生活できるように</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の施設等を訪れ、地域の人に親しみを持って関わる気持ちを育てる</li> <li>・地域の小学校との交流等地域の様々な人々と交流する機会を設定し体験を重ねる</li> </ul>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てサロンや園庭開放に取り組む、在宅家庭への親子のふれあひあそびや保護者との会話をを通して関係づくりを大事にした。また園児も多くあり丁寧な対応を心がけ園庭開放やマイ保育園登録につながっている。</li> </ul>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者とは懇談会や送迎時で子どもの育ちを共有できた。</li> </ul>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アプリを通し、活動内容や方針を伝えていきとよい。ICT化で伝わる取り組みが良い。</li> </ul>	
<p>保護者や子どもの姿を検討し地域の課題を見出し連携して取り組む</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭状況に応じて適宜働きかけを行い親子関係の安定を図る</li> <li>・研修や会議等で関係機関と交流し、子どもの現状を確かめ合い次の実践につなげる</li> </ul>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公開保育を行い、公民園が参加し異年齢保育を見てもらった。ビデオも撮り園内研修として保育教諭間で振り返り等の意見交流をして学びにつなげた。</li> </ul>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の家庭状況に合わせともに子育てしていきよう、園での姿を伝え、家庭の様子を知り職員間で共有した。また、職員が研修で学んだことを会議で共有し実践につなげてきた。</li> </ul>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校とも連携し研修が出来るとよい。</li> </ul>	
<p>職員の質の向上をめざす</p>	<p>教育保育の実践を振り返り、課題を見出し、研修や会議で検討を積み重ねる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理念や方針、教育・保育課程や指導計画について、職員同士が共通理解する</li> <li>・研究等を通じ、専門性や倫理性の向上に努めるとともに自己研鑽を積極的に行う</li> </ul>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの家庭状況を把握し、職員の共通理解のもとで家庭支援を計画的に行う</li> </ul>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者への理解や協力、職員間の共有が大切である。</li> </ul>	
<p>支援の必要な家庭への働きかけや対応について実践を重ねる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの家庭状況を把握し、職員の共通理解のもとで家庭支援を計画的に行う</li> <li>・保育参観、個人懇談会、育児講座等の取り組み内容を工夫し保護者の養育力を高める</li> </ul>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育参観、個人懇談会、育児講座等の取り組み内容を工夫し保護者の養育力を高める</li> </ul>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育参観、個人懇談会、育児講座等の取り組み内容を工夫し保護者の養育力を高める</li> </ul>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育参観、個人懇談会、育児講座等の取り組み内容を工夫し保護者の養育力を高める</li> </ul>	

今後の取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
<p>異年齢保育を中心にしながら、個々が安定した気持ちで過ごし自分の思いや感じたことを言葉や仕草で伝える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気持ちが安定して過ごせるように一人一人の気持ちに寄り添い、個々の姿にあった働きかけを職員間で検討し取り組んでいく。</li> <li>・興味、関心をもてるよう視覚支援を取り入れながら、見通しをもって活動できるように関わっていく。</li> <li>・園児が伝えたい思いを言葉や仕草で返し、表現することの楽しさを伝えていく。</li> </ul>
<p>様々なあそびを通してしなやかな体づくりをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リズム遊び、ほぐしあそびやアートヨガなど楽しいあそびに取り組みながら、体を動かすことの喜びを感じるようにする。</li> <li>・保健指導、栄養指導を行い体の大切さに感心をもてるように、視覚支援や実践を通して体幹づくりにつなげていく。</li> </ul>
<p>基本的な生活習慣を身につける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりが意識して行えるよう(丁寧な手洗いやうがい、マナーなど)継続的な指導を行っていく。</li> <li>・保護者へも啓発し共に取り組めるように連携をはかる。</li> </ul>

<p><b>園長より</b></p> <p>一人一人にしっかり寄り添い情緒の安定を図り、異年齢保育で様々な活動をする中で主体的に遊べる教育保育に取り組んできました。保護者の方にはアプリを通しての連絡も増えご協力、ご理解を頂きました。地域との連携もさらに深めていきたいと思えます。職員研修を重ね、よりよい教育保育になるよう取り組んでいきます。</p>
--